

議 会 ごかせ だより

October

第 50 号

平成 30 年 10 月 10 日発行



御長寿
おめでとうございます！
いつまでもお元気で！



目 次

- 平成 30 年度補正 . . . P2
- 決算審査報告 . . . P3～4
- 一般質問 . . . P5～8
- 総括質疑 他 . . . P9～11
- 議会活動 他 . . . P12

9月定例会

第3回定例会は、9月4日に開会し、9月20日までの17日間の日程で行われました。内容は報告2件 議案18件計20件が上程され、審議採決の結果原案どおり承認されました。今定例会では、平成29年度の決算審査が行われ、内容は別項報告書のとおりです。

平成30年度補正予算

一般会計 **2億1千950万円**を追加

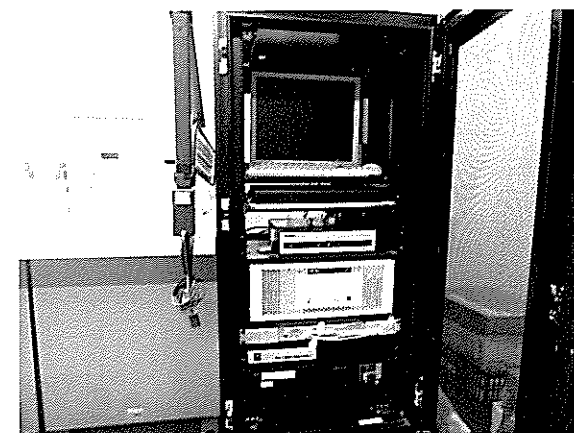
総額40億3千100万円に

歳入の主なものは、町税 7,938 千円、地方交付税、87,987 千円、国庫支出金 30,251 千円、県支出金 29,794 千円、財産収入、42,844 千円、である。

歳出の主なものは、産地パワーアップ事業補助金に 7,500 千円、造林費 7,900 千円、災害復旧費、73,930 千円、などである。



林道路肩決壊



新基準小型受信機

条例の一部改正

- ・五ヶ瀬町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

人事案件

- ・五ヶ瀬町教育長の任命同意について
猪野 貴一 氏（五ヶ瀬町大字三ヶ所）
- ・五ヶ瀬町教育委員会委員の任命同意について
寺本 俊文 氏（五ヶ瀬町大字三ヶ所）

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ・五ヶ瀬町選挙管理委員会及び選挙管理委員会委員補充員について | 選挙管理委員補充員 |
| 選挙管理委員 | |
| 興梠 美代喜氏（五ヶ瀬町大字鞍岡） | 戸高 勝洋 氏 |
| 周防 五月 氏（五ヶ瀬町大字三ヶ所） | 小迫 幸弘 氏 |
| 黒木 孝次 氏（五ヶ瀬町大字桑野内） | 齊家 晃 氏 |
| 西川 成子 氏（五ヶ瀬町大字三ヶ所） | 武内 秀元 氏 |

議員発議

- ・後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求める意見書を国に提出することについて



決算審査報告

総務農林常任委員会

委員長 綾 健一

総務課

総務費、広告費委託料625万円は、町広報紙のデジタル化。町の重要な歴史資料の有効活用が望まれる。消防費、災害対策費委託料496万円で、地域防災計画改定。工事請負費442万円で、防火水槽を建設。（鞍岡、原目地区）防火水槽有蓋化の要望多数。継続して推進を。

委員会の意見
消防団員の減少に伴い、分団の見直し時期にきているのではないかと。消防格納庫や通学路に、防犯カメラの設置を検討してはどうか。

企画課

報償費で、出産祝い金92万円を支給。報償金457万円は、ふるさと納税の返礼品経費。商工振興費で、第3セクターへ3,000万円の貸付。

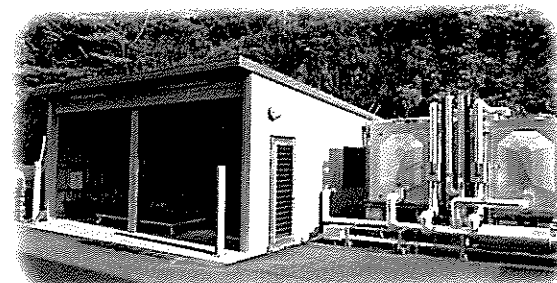
委員会の意見
ふるさと納税を新たな財源として、更なる取り組みに期待。ワイナリー・スキー場共に懸命な経営改善が行われているが、依然として厳しい状況。指定管理のあり方も含め慎重に検討を。

農林課



ふるさと納税返礼品

「みやざき茶」チャレンジ産地支援事業に446万円。火入れ機2台・棚乾燥機1台・委調機1台を導入。畜産事業費、優良雌牛の導入・保留対策・増頭奨励に235万円。新規就農交付金で750万円、担い手対策に期待。有害獣緊急捕獲活動支援事業で1,187万円。鹿・猪1,007頭が捕獲。木質バイオマス利用促進施設工事3,802万円で、木地屋に木質ボイラーを設置。椎茸生産・出荷対策支援で333万円。種ごま購入に対しての助成。



木質ボイラー設置

委員会の意見
高齢化や担い手不足が進行する中、意欲低下を解消するため、各種事業の継続を。木質ボイラーが、木地屋の経費削減に繋がることが焦点。直接支払制度は4期目の3年目。高齢者も多く維持管理も困難に。見直しの検討も必要か。

建設課

県単独土地改良事業350万円は、土地区画整理事業。災害復旧費4,198万円は、熊本地震による災害復旧工事、町内20ヶ所で農地・農業用施設を整備。道路維持費1,043万円で、町内一円に町道路面補修工事。地域防災がけ崩れ対策事業は、一の瀬地区で554万円。

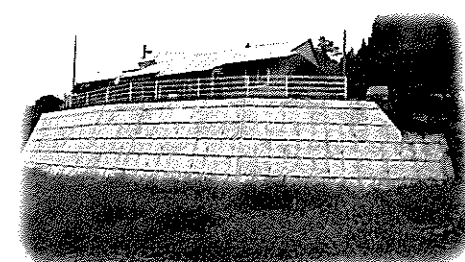
会計室

財産運用収入は、宮崎銀行株30,211株保有、その収入が主なもの。支出は、旅費・需用費・役務費等となっている。

委員会の意見
準公金通帳は会計室にて保管。保安上の問題はないが、引き続き管理の徹底を。

簡易水道事業特別会計

歳入総額3,192万円。使用料及び手数料が主なもの。未納額は、51万円で、対策を講じ回収され減少傾向。歳出は、電気計装設備保守点検委託料464万円及び、遠方監視システム設置委託料1,598万円が主なもの。五ヶ瀬中学校で送水管敷設工事が2,440万円で整備。31年給水開始予定。



地域防災がけ崩れ対策事業

未納額の減少に繋がる努力を継続的に。簡易水道の要望もあり、早期の事業化が望まれる。

決算審査報告書

文教福祉常任委員会

委員長 秋本 良一

町民課

個人税は、8,767万円。前年とほぼ同額。
法人税は、法人決算状況により約200万円の減。
固定資産税2,965万円は、風力発電と携帯電話鉄塔施設費が主なもの。
町民税等滞納繰越金は4,083万円。内、平成29年度に921万円の徴収。

福祉課

老人保健費219万円、15.2%の伸び。
健康づくりマイポイント事業費金の増が要因。
母子福祉費91万円は、ひとり親家庭医療費6.4%の増。

教育委員会

佐伯勝元氏（桑野内出身・徳島県在住）より、1億円を教育費寄付基金として頂きました。
五ヶ瀬中学校グラウンドトイレ設置や、町内4小学校で66ヶ所の修繕等1,300万円を支出。

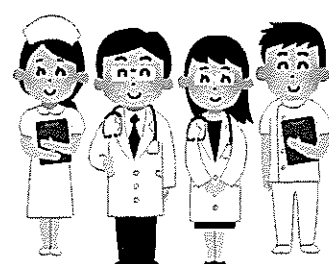
国民健康保険特別会計

国民健康保険税10,366万円は前年比3.2%の増。
前期高齢者交付金は13,878万円で0.1%の増。
保険税等未収金2,339万円。

国民健康保険特別会計
診療状況
入院患者数12,682人、前年比2.379人の減。
外来患者数23,062人、前年比79.2人の増。
病院事業収益54,421万円から、事業費用・特別損失合計55,693万円を差し引くと、1,272万円のマイナス計上。
未収金は過年度分と合わせ、951万円。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計
診療状況
入院患者数12,682人、前年比2.379人の減。
外来患者数23,062人、前年比79.2人の増。
病院事業収益54,421万円から、事業費用・特別損失合計55,693万円を差し引くと、1,272万円のマイナス計上。
未収金は過年度分と合わせ、951万円。



委員会の意見
医師・薬剤師の確保。また、病院運営に精通されている方の指導回数が増。
未収金徴収努力の強化及び、コミュニティバスの運行時刻の変更等要望する。

介護保険特別会計

歳入総額49,290万円。
歳出総額46,272万円。
執行率96.6%で、支出額の90%が保険給付費。

後期高齢者医療特別会計

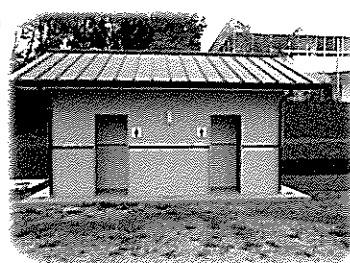
歳入総額5,289万円は、前年比107.8%の増。
歳出総額5,220万円は、後期高齢者医療広域連合納付金が主なもの。



風力発電施設



ふれあい施設にて



五ヶ瀬中学校グラウンドトイレ



コミュニティバスの運行状況

九月議会の一般質問



佐藤成志議員

町の防災についての取り組みは。

総務課長

訓練・危険箇所調査を実施。

建設課長

自主防災組織、消防団との連携を取りながらの避難訓練、防災訓練をしていただくのが良いのではと思う。

問

ハザードマップを作成し全戸配布されているが、住民の熟知が必要。特に高齢者など本当に必要な人達が活用できる取り組みは。

建設課長

ハザードマップは災害に関する情報を提供して、事前の備えに役立ててもらう目的で作成。災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助・公助・共助」の連携が不可欠である。見やすいマップにな



地域防災訓練の様子

町長の政治姿勢について

町長

独創英断でなく協調性を大切に事を進めたい

問

課題山積の町政であるが、問題解決に向けての町長の決断があまり見えてない。旧鞍岡中学校跡地の活用、道の駅、観光への取り組みなど、町長の考え、指針が決まればた直ちに実行に移せる事案である。

決断力、実行力のある政治を望むが、町長の考えは。

町長

首長としてのリーダーシップの本質は、独創英断ということより、協調性を大切に、事を決するにあたっては話し合いが基本と考える。「やるべきことはやる、待つべきことは待つ、やらざるべきことはやらない」

今後内部統制と法令遵守を徹底し、行政運営に邁進したい。

問 旧鞍岡中学校跡地の活用の問題はもっと早く解決出来たのでは。町長がこの方針でこう動きますると担当課への指示を早くしてほしかったのだが。

町長

跡地の対応について議論をスタートさせ、自治公民館機能を備えた複合施設が好ましいと考えていた。その後「鞍岡地区の跡地を考える会」の皆様から要望書が提出された為、区民の意見を尊重し結論は先送りした。ある程度の期間しっかり議論し、方向性を提示。小さな拠点として地域活性化の起爆剤にすべく、早急につながる対応策、それに向けての予算化を含めての対応を考えている。

問

防災訓練の高度化、町が中心となって積極的な防災訓練が必要では

一般質問

問 観光地であるワイナリー、白滝、うのこの滝等への駐車場、道路整備をどう取り組むのか。

町長

ワイナリーの駐車場用地整備であるが、八月には一日に七、八台の大型バスが入ったと聞いている。駐車場が足りないといふ。今シーズンの状況を踏まえて、しっかり議論していく。

問 学校の先生達の貢献度は非常に高い。優秀な先生達が来て学力も向上、家族同伴で各小学校に寄与。しかし、学校住宅が古くて環境が整っていない現状である。整備についての考えは。

町長

教育委員会、教育長ともしっかりと議論し、できる範囲で整備を進めていきたい。



ワイナリーの駐車場

問 今までの質問を含めていくつかのプロジェクトチームを立ち上げて実行されている。「五ヶ瀬町のためにありますよ」と町民に知らしめて、スピード感を持って実行してもらいたい。

町長

プロジェクトは新庁舎建設、防災デジタル無線などあり、みんなの意見を出し合う会議をやっている。山積みする問題も指針をつくり、一歩、二歩前進している。私がすべてやるのではないので、各職員にしっかりと思いを周知させ、考えさせながら行政に携わっていききたい。



秋本良一議員

問 教育の町としてG事業をはじめキャリア教育にも熱心に取組んでいる。また、地域の行事にも積極的に参加し、まさに子どもは地域の宝であり誇りでもある。給食完全無償化により、子どものいる世帯への経済支援や環境改善へと広がり、さらには少子化対策、移住、定住の増加も考えられるが。

教育長

子どもたちに安全、安心で栄養価のある良質な給食を実施することは、重要なことだと考えている。学校給食の無償化は県内では26市町村のうち、全額補助が一村のみである。完全無償化のためには1,200百万円ほどの経費が必要、新たな町単位での補助制度の導入は厳しい状況にある。

町立小・中学校児童生徒給食完全無償化について

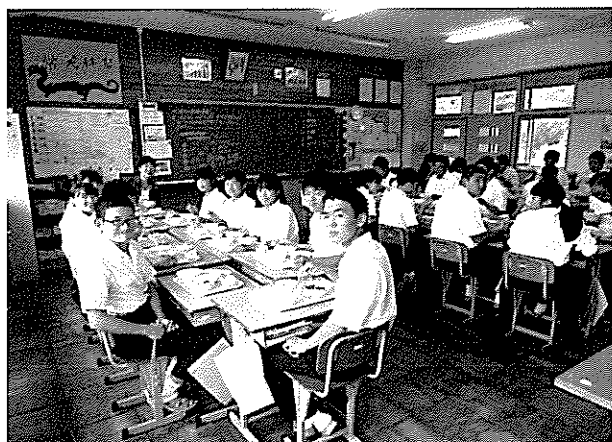
教育長

町単位での補助制度の導入は難しい

問 保護者の経済的負担の軽減、子育て支援、食育の推進、そして少子化対策など子どもや人口の増加が期待できる支援ではないかと思う。近隣町村では子育ての補助事業として単独で行っている所もあるが。

町長

県内に1/2補助、定額補助があることは報告受けている。ただ、給食費はその子ども達の親が、原則払うものだと考えている。全額補助、一部補助、半額補助が、移住、定住にどれだけ効果があるのか見きわめたい。



五ヶ瀬中給食の様子



甲斐政國議員

ふるさと納税について

町長

地域振興に寄与させたい。

問 ふるさと納税は自治体ごとに様々な取り組みがなされ、数十億円の税収を収めているものもある。ふるさと納税を新たな財源と位置づけられているが、その取り組みは、また、庁舎内に専門的部所を置く考えは。

町長

諸々の経費を含めて30%を基本と考える。地域の意見を考慮した基準を国には示してもらいたいし、今後整理されると思う。發送業務は、物品に一番思いの強い事業車から贈った方がよいと考える。



ふるさと納税返礼品

新庁舎建設に伴う帯施設の考えについて

町長

町民からの意見を尊重。

問 29年度の実績は、391件、1,527万円。インターネット構築による利便性の向上、返礼品のボリュームを増やし還元率を上げた。新規返礼品の開拓、課を超えた横断的な取り組みを行い、若手職員を中心とした勉強会もスタートさせた。新たな部所を置く考えはない。

企画課長

企業や専門家からの意見聴取、ANAと「ふるさとチョイス」に加えて、東京「コンネ館」で近くPR活動を始める。

問 新庁舎建設が本格的に始動したところであるが、事務的機能だけでなく、他の機能を有する施設設置の考えは。また、住民の理解は得られているか。

町長

3月議会の一般質問で、「機能面で取り込める部分は検討したい」と答弁した。パブリックコメントでいただいた町民からの意見は、尊重し委員会の中で検討する。建設に対する反対意見は出ていない。

問 町長の考える庁舎の構想は。また、建設場所で他に安心・安全な候補地はないのか。

町長

① 町民に開かれた誰もが使いやすい庁舎。
② 町民サービス、事務効率の向上を目指した機能的な庁舎。
③ 町民の安心・安全は暮らしを支える拠点としての庁舎。
④ 議会活動を推進する場としての庁舎。
⑤ 簡素で効率的・経済的な庁舎。

町長

新庁舎にその様なスペースも当然議論になると思う。検討委員会の中で最終的な方向を決定したい。

問 新庁舎へのつくしんぼ文庫と図書館の設置要望が出されているが、どう考えるか。



新庁舎候補地

移住・定住の促進について

町長

地方創生事業に全力で取り組む。

問 人口減少は更に加速し、定めた目標を大きく下回る、農林漁業を主体とする我が町に、今後どのような対策を取り、人口減少に歯止めをかけるのか。

町長

町の人口は想定以上に減少が進み、このままでは年2060年将来人口2,700人という目標は達成できない。

専門業者によりその背景や課題について分析する考えである。先ずは「五ヶ瀬まち・ひと・しごと創生本部」で進める地方創生事業に全力で取り組む。第一次産業を核に外貨を稼ぎ、稼いだお金で町内事業を循環させる仕組み。

出産・育児支援や教育支援、更には婚活支援や子育て支援も並行して行きたい。

特に定住促進のため宅地整備が重要と考えている。

問 子ども医療費の無償化、産婦人科医院と連携し安心安全に産出できる環境、出産祝い金の見直し等具体的な考えは。

見直すべきは見直し、一連の支援策を明確に打ち出しPRしなければ移住・定住促進にはつながらないと思うが。



中央保育所楽しい給食

町長

検討を要する措置があると思うが、今のところ具体的に手法など含め考えてない。総合的な施策が複合的に絡まないと移住・定住にはつながりません。町のPRもしつかりやらなければ理解してもらえないというのは当然のこと。お互いに知恵を出し合いながら、進められることから進められればと思う。

問 農業・林業・商工業発展のため、プロジェクトチームの立ち上げを表明されているが、チームの目的・課題そして産業振興の方向性は。

町長

第一次産業は地方創生事業を進めるための基幹産業であり、外貨を稼ぐ仕事づくりの核となるものである。二期目に掛ける思いとして、一期以上の施策を展開する覚悟である。

農林商工業者が本気になって知恵をださなければ、解決しない問題。この主役の方々にチームを組織して戴き、担い手対策・放棄地対策更には有害獣対策、関係機関と連携を取り課題解決の糸口をスピード感を持って見出したい。



甲斐松男議員

産業振興の取り組みについて

町長

一期目以上の施策を展開。

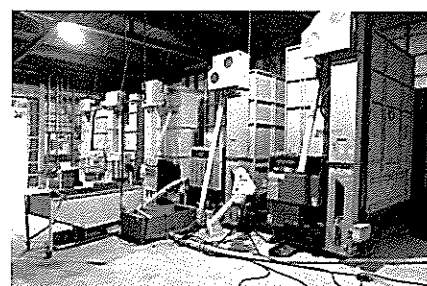
問 少子高齢化に伴って発生する全国的な問題、町内においても暮らしや農業生活に様々な行き詰まりが生じないかと心配する。JAとの連携、畜産事業も含めた経営指導の必要性をどう理解されるか。

町長

JA高千穂地区は畜産が主力。ただ、野菜・果樹を含め、複合経営をどう伸ばすか。JAとの意見交換、町長として出席し積極的に進めたい。

農林課長

本町は複合経営が基本である。担い手対策や農家の個人情報もあり、町が経営内容まで踏み込むことに厳しい面もある。今後普及センター・支庁・行政機関も含め、JAとも協力し問題解決に努めたい。



新しく稼働する籾すり場

町長

問 五ヶ瀬も夏秋野菜が重点作物。新規の作物があれば行政からも指導願いたい。やる気のある農家、林家を育てて戴きたい。

基幹産業に携わる若手の人たちが、次なる思いを考えていかないと、支援の手法が見つからない。そのためのプロジェクトチームの立ち上げである。人口減少は、克服できるという強い気持ちで施策を打って行く。

総括質疑 ……(決算関係)……

Q 地域づくり支援事業補助金361万円となっているが、総額では14行政区各30万円の420万円と思うが、減額になった理由と、費用対効果について伺いたい。

A 1行政区当たり30万円を上限として交付されるもの。各行政区から提出された実績を基に積み上げた金額となっている。各行政区ごとに様々な取り組みがなされ、効果はあったと理解している。

Q 地域振興費の報償金457万円について、支払われた内容とその効果について伺いたい。

A ふるさと納税に係る返礼品の支出となっている。29年度は391件の申し込みがあり、総額1,527万円となった。



ふるさと納税に町特産品を活用



ムービングベルト、初心者コースの設置

Q 森林公園事業の工事請負費で、ムービングベルト・初心者コースが設置されたが、その効果について伺いたい。

A 初心者の方々には好評であったと認識している。今後は、PR等を行い、更なる集客・利活用に努める。

Q 町税等の収入未済額について、前年度からすれば回収に努められ減少はしているが、長期化・増加傾向にあるものもある。保証人への請求も含め、今後の対応について伺いたい。

A 町税等収納率向上対策委員会において検討・協議を重ね、対策を講じて徴収に努めている。本人への通知は元より、直接面接、分納を勧めたり、差し押さえも検討する。まだ保証人までの請求はやっていない。長期化しているものもあり、内容を整理する必要がある。

Q 林業振興対策資金貸付金1,000万円について、内容と成果について伺いたい。

A 森林組合に年度初めに貸付し、年度末に返済される資金で、組合員が委託する植栽・下刈・除間伐事業等に係る、組合員が負担する事業費分として活用されている。実績は、植栽24ha・下刈222ha・除間伐58haとなっている。

議会報告会開催のお知らせ

五ヶ瀬町議会では、平成30年度議会報告会を下記の日程で開催します。
ご多忙な時期とは思いますが、町民の皆様方お誘い合わせの上ご出席頂き、ご意見等お聞かせ下さい。
心よりお待ちしております。

開催日	開催場所	開催時間	対象地区
10月22日(月)	荒踊りの館	19:00～	1区
10月23日(火)	福祉センター	19:00～	2区～5区
10月25日(木)	桑野内生改センター	19:00～	6区～8区
10月26日(金)	旧鞍岡中学校	19:00～	9区～14区



昨年の座談会の様子



議会運営委員会審査報告書

本委員会では、五ヶ瀬町議会基本条例第22条第1項に規定される目的の達成度の検討について、五ヶ瀬町議会基本条例の見直し手続きに関する要綱に基づき評価を行いました。

[評価の結果]

平成29年6月に議会基本条例を制定後、初めての評価作業となり、評価の方法、指標、手順には改善の余地があると思われます。

評価結果については、5が1規定、4が36規定、3が7規定でありました。
見直しの対象となる2の評価となった4つの規定については、内容の見直しは必要でなく、その目的達成の為の議会及び議員活動の更なる努力が必要であるとししました。

[評価の指標]

5	十分に達成 (9～10割)
4	概ね達成 (7～8割)
3	一部達成 (5～6割)
2	不足 (3～4割)
1	未達成 (3割未満)



埼玉県横瀬町での研修

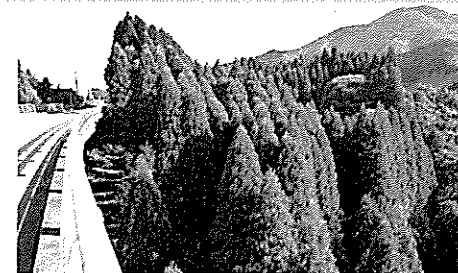
[結果の公表]

本委員会における評価の結果については、五ヶ瀬町議会基本条例の見直し、手続きに関する要綱第7条第2項に基づき議会ホームページ及び議会だよりに掲載し、広く町民に周知を図ることとします。

総括質疑 …(補正関係)…

⑨ 財産管理費で、特産センター西側用地調査委託料として452万円計上されているが、何のためのものか。また、調査の内容についても伺いたい。

④ 九州中央道(五ヶ瀬～高千穂道)が開設になった場合の、残土処理候補地として調査するもの。約1haで、境界測量や残土処理能力等についての調査・測量となっている。



県境から見た調査地

⑩ 農業振興まつりの経費として、100万円計上されているが、負担割合や日程等について伺いたい。

④ 当初の負担割合は、町100万円・JA50万円・その他50万円としていたが、経費が増加することが考えられるため、町の負担を100万円補正した。

開催日は、30年11月11日(日)で、JAとは今後協議するが、50万円は確定している。

⑨ ふるさとづくり基金費で、新得町交換林売却収入金として692万円積み立てるとしているが、五ヶ瀬町の交換林の対応はどうなっているのか伺いたい。

④ 国の間伐補助事業の関係で、伐採できるのは平成31年度以降となっている。新得町も新庁舎建設を検討中であり、売却だけでなく、建築材・内装化粧材として五ヶ瀬町産材を活用することも検討されている。

=シリーズ= 話題あれこれ

平成元年10月21日、新得町と五ヶ瀬町の姉妹町締結を機に、相互の自然環境の特徴など認識を深め、山林の持つ多様性・重要性を学ぶため、両町の町有林を交換しました。

この度、姉妹町締結30周年に当たり、相互の交換林を処分し、お互いの町へ寄付することとなりました。

新得町からは、

面積 3.60ha カラマツ51年生 1,576本 材積 874.909m³の売上代金6,923,772円が寄付され、ふるさとづくり基金に積み立てられました。

五ヶ瀬町からは、

面積 1.44ha 杉・桧 60年生の林分ですが、平成22年度に国の事業で間伐事業が行われ、31年度まで禁伐となっています。

活用方法としては、北海道には杉・桧の林分が無いことから、新庁舎建築の際に内装の化粧材として利用する考えがあるようです。



現在の五ヶ瀬町の交換林



12年前の新得町の交換林

7月行事

- 6日 公民館長会との意見交換会
- 11日 ふれあいルーム視察
- 11日 九州中央道建設促進沿線議会期成会総会・決起大会（高千穂）
- 11日 県内市議との意見交換会
- 17日 西臼杵支庁との意見交換会
- 21日 消防夏季点検・操法大会（Gパーク）

8月行事

- 5日 西臼杵郡消防操法大会（日之影町）
- 7日 山都町議会との意見交換会
- 24日 九州中央自動車道建設促進地方大会（高千穂）

9月行事

- 4日 第3回議会定例会（初日）
- 6日 第3回議会定例会（総括質疑）・決算審査
- 7日 決算審査
- 9日 五ヶ瀬中学校体育祭
- 12日 決算審査現地確認
- 13日 第3回議会定例会（一般質問）・行財政改革特別委員会
- 16日 町内小学校運動会（鞍小・上小・三小）
- 20日 第3回議会定例会（総括質疑・最終日）・行財政改革特別委員会
- 24日 国道218号五ヶ瀬高千穂道路中心杭打ち式（町民センター）



中心杭打ち式

10月行事予定

- 1日～3日 議会政務調査
- 6日 新得町議会来町、交流会
- 7日 夕日の里フェスタ（五ヶ瀬ワイナリー）
坂本小学校運動会
- 11日 県町村議会議員大会（町民センター）
- 14日 ふくしまつり
- 22日 議会報告会（19:00～荒踊の館）
- 23日 議会報告会（19:00～福祉センター）
- 25日 議会報告会（19:00～桑野内生改センター）
- 26日 議会報告会（19:00～旧鞍岡中学校）
- 28日 五ヶ瀬ワイナリー収穫祭



林野庁への要望活動

11月行事予定

- 11日 農業振興まつり
- 15日～16日 幹部議員研修会（宮崎市）
- 27日～28日 議会広報研修（宮崎市）

編集後記

秋の収穫期も真只中の人、ピークを過ぎ一段落した人と様々でしょう。今年も大型台風が次々と発生。幸いにも直撃は免れていますが、毎年この様な大型台風は来るものと、心して対応しなければなりません。

先月、町民センターにおいて「九州中央自動車道五ヶ瀬高千穂道路中心杭打ち式」が開催されました。事業化決定から半年での杭打ち式と、今までに無いスピードで事業が進んでいます。中央自動車は町の期待を一身に背負っています。道路開通後にどう効果を出すのか今から知恵を出し、開通時には実行出来る様準備を進めて行く事が重要です。

議会も、町民の皆様の多くの意見を聞きながら、町と共に準備を進めて行きます。議会報告会等にご出席戴き多くの意見を聞かせていただくと幸いです。いよいよ朝夕と涼しくなりだしました。体調管理に十分ご留意の上日々お過ごし下さい。

発行責任者

議長 小笠まゆみ

議会広報委員会

委員長 甲斐 政國

副委員長 佐藤 成志

委員 綾 健一

委員 秋本 良一

どうぞ、傍聴席へ

次の定例会は30年12月開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局へお尋ね下さい。

●議会事務局 〇八二一七二